

あなたの準備できていますか？

一緒に考えましょう

施設での看取りケア

～「ここで最期まで」を叶えるために～

施設は今、自宅に代わる“終の棲家”としての役割が求められています。「最期はここで過ごしたい」という想いに応えるために、私たちは日頃からどのように関わり、ケアをしていけばよいのでしょうか。

今回は、宇治徳洲会病院・救急総合診療科の城 高晶先生、神奈川県横浜市の特別養護老人ホーム グリーンヒル泉・横浜の小山輝幸さんのご講演から、施設での看取りケアについて考えます。ぜひ、お気軽にご参加ください。



講演 1

『高齢者救急の “辛く悲しい” 現状』



医療法人 徳洲会
宇治徳洲会病院
救急総合診療科
医師
城 高晶 さん

宇治徳洲会病院 救急総合診療科10年目。主に高齢者の内科救急対応と入院後管理を担当。救急専門医、内科認定医。当直医/外来医/臨床医マニュアルの執筆、編集にも携わる他、院内にACPを導入し、関連施設にも実践を進めている。

講演 2

『医療機関との連携による 特別養護老人ホームでの看取り ～ダブル改定から見えてくる今後の備え～』



社会福祉法人 寿
特別養護老人ホーム
グリーンヒル泉・横浜
介護支援専門員・社会福祉士
小山 輝幸 さん

平成17年グリーンヒル泉・横浜の開設時に生活相談員として入職。配置医師だけでなく、在宅療養支援診療所と連携する方式で、施設開設から約3年で看取り介護を行う体制を整備した。介護支援専門員、社会福祉士。

日時 平成30年 **3月10日** (土)
14時00分～16時30分 (受付開始13時半～)

会場 **宇治市産業会館 (宇治商工会議所)**
3階大会議室

対象 **医療・介護・福祉にかかわる多職種**

* 参加費無料・申込不要です。多数のご参加お待ちしております。

主催: 宇治久世医師会 (看取り委員会)

お問い合わせ先: 宇治久世医師会事務局 ☎ 0774-24-1711

